

漫 録

海峽殖民地の道路瞥見

道路改良會理事 佐 上 信 一



材料を以て鋪装せられ、車行は極めて快適である。又街路の維持修繕は比較的行届いて、黒面の道路掃除人が常に各所で馬糞其の他の汚物を掃除しつつあるのみならず、街路洗滌用の水道も備はり、撒水又は路面洗滌の用に供せられて居る。

新嘉坡は英國の經營に係る海峽植民地の一で、馬來半島の南端に位し、赤道を距る僅かに八十海里の北にあり、人口約四十萬で支那人の數も少くない黃黑色の馬來人、漆黒の印度人等が市内を横行してゐるのを見ると、遙かな異郷にあるの感を催さざるを得ない。新嘉坡の重要道路は幅員廣濶にして自動車の交通に支障なく、路面はアスファルト其の他の鋪装

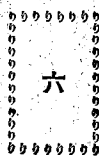
新嘉坡のやうな赤道附近に位する土地では、樹木の繁茂極

めて盛なるが故に、道路に植栽せられた竝木の如きも、其の樹種の豊富にして且つ樹姿の艶麗なるは、多く他に其の比を見ない程であつて、樹木の單調に飽ける吾人を羨ましむること大である。殊に一年を通じて炎暑燥くが如き氣候の中に生活する者には、朝夕街路樹の樹頭に戰々清風に萬斛の涼味を感得することが如何に生活上の慰安を與へることであらう。就中行客の眼に新奇の感を起させるのは、棉の樹、合歡の樹、椰子の樹等の道路竝木であつて、棉の樹は棉果を生ずる多年生の樹木であつて、形状はポプラに似て、花時には黄白の花を開き、果期には樹枝に棉果を結び、人は梯子を用ひて之に登攀し、棉を摘採すると云ふ。合歡の樹は我國のそれと異り亭々として空を衝き、滴るばかりの緑の葉の間に、眞紅の花咲いて、南洋氣分の最も濃厚なものである。椰子の樹は其の種類極めて多く、軀幹の細長きものあり、巨大なるものあり又葉枝の繊細なるものあり、偉大なるものあり、千態萬容であるけれども同一區間には多く同種類の椰子並木を植栽して居る。是等は何れも苗圃地に於て栽培せられ、枯損其の他の事故あるときは、直に他の殘存樹と同一樹齡の木を以て、之を補植してゐる所に少からぬ苦心の跡を見る。

二

新嘉坡の道路は上海のそれに比して幅員廣潤なるが上に、交通が頻繁と云ふ程でないので、交通の整理は上海で見ることが如く活潑ではない。只自動車定員の制限や、荷車積載量の制限は、極めて嚴重であつて之に依つて勉めて事前に事故の發生を豫防せんとして居るが如く見受けられる。新嘉坡では歐米式に何れの道路にも固有の名稱を付し、之を街角に掲出して通行者の利便に供して居る。平素此の點に關し少からざる不便を感じつつある我國に於ては、宜しく外國の各都市が、市内の道路に一定の系統を設け、之に固有の名稱を附して之を街角に掲ぐると共に、精密なる地圖を發行して、詳細の道路圖を之に掲載せるが爲め、之に依つて容易に目的地を索出することを得て、少からぬ利便を得つつあるに鑑み、都市計畫の施行に伴ひ町名地番の整理を行ひ、一般人をして其の都市の交通上に於ける從來の煩鎖を一掃する方法を講ぜられむことを希望せざるを得ぬ。

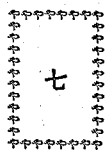
云ふことである。



六

●●●●●
●●●●●

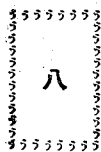
古●倫●母●は●錫●倫●島●の●一●角●に●位●す●る●英●國●の●經●營●に●係●る●開●港●場●で
あるが、市内道路の主要なるものは、幅員廣瀾なるも、其の
然らざるものは幅員概して狭小なるを免れない。只歩道を軒
下に設けて、災天の下に於ても日蔭を通行することを得るや
うな設備をして居る。市内道路の舗裝は、アスフルトマカガ
ム又はターマカダムを用ひて居るが、鐵輪の車輛も少くない
ので之が路面破壊の原因を爲して居るので、常に道路の維持
修繕に注意を加へ、黃い額の道路工夫は、繞り付くが如き炎
暑と戦ひつつ、ステームローラーを運轉させて、修繕工事を
執行しつゝあるのを見た。古●倫●母●は●市●内●道●路●の●幅●員●が●狭●少●で
あり且つ交通が頻繁なるがため、交通の整理に力を用ひて
居るけれども、土地柄として萬事が紛雜の感あるを免れない
道路の交又點には道路標識を設け、車馬の交通する方向を指
示すると共に、跣足のまゝの交通巡查は、街角に佇立して手



七

●●●●●
●●●●●

古●倫●母●の●道●路●に●も●立●派●な●椰子●の●並●木●が●あ●つ●て、●之●が●周●圍●の
光景と融和して、云ふ可からざる美觀を呈して居る。南洋地
方には道路のある所並木なきはなく、又其並木は何れも其の
土地に特殊の樹種を選定して居るのは面白い。遊歩道にもな
か／＼立派なものがあつて、ゴールデンパークから東の海岸
に達するプロメナードに自動車を驅ると、坦々たる大道は脚
下に澎湃たる印度洋の巨浪を受けて夢の如く煙り其の形勝の
雄大なる多く他に比類を見ない。歐米人が植民する所、必ず
道路公園其の他の施設に依りて自己の周圍を美化せずんば止
まざらむとする所に、其優越なる植民的素質の存するを見る。



八

●古●倫●母●郊●外●シ●ャ●カ●ブ●ダ●寺●に●自●動●車●を●驅●る●。●郊●外●の●道●路●は●幅●員●廣●濶●と●云●ふ●に●は●あ●ら●ざ●れ●ど●も●、●電●柱●等●は●整●然●と●し●て●何●れ●も●道●路●敷●地●以●外●に●建●設●せ●ら●れ●て●、●交●通●を●妨●ぐ●る●も●の●は●な●く●、●路●面●の●如●き●交●通●の●頻●繁●な●る●個●所●は●、●タ●ー●マ●カ●ダ●ム●を●以●て●鋪●裝●し●然●ら●ざ●る●個●所●は●交●通●の●状●態●に●適●應●し●て●鋪●裝●を●省●略●せ●ら●れ●た●個●所●が●少●く●な●い●。●此●の●地●方●は●雨●量●極●め●て●少●き●が●た●め●か●。●道●路●に●砂●塵●の●飛●ぶ●こ●と●珍●し●か●ら●ず●。●さ●れ●ば●郊●外●道●路●に●も●撒●水●車●を●使●用●し●て●防●塵●に●力●を●致●し●て●居●る●個●所●が●澤●山●に●あ●る●。●郊●外●道●路●の●並●木●の●美●觀●は●、●先●に●新●嘉●坡●に●就●て●一●言●し●た●が●古●倫●母●に●於●て●更●に●其●の●感●を●深●く●し●た●。

九

●坡●土●西●は●ス●エ●ズ●運●河●の●河●口●に●位●す●る●一●都●市●で●あ●る●が●、●此●の●地●は●水●上●の●交●通●が●發●達●せ●る●が●爲●め●、●海●岸●線●を●除●く●の●外●は●、●さ●し●た●る●立●派●の●道●路●は●な●い●。●市●街●の●重●要●街●路●に●も●石●敷●の●も●の●多●く●、●又●新●に●開●設●せ●ら●れ●た●る●市●内●道●路●に●し●て●、●マ●カ●ダ●ム●式●の●築●造●法●を●採●る●等●之●を●他●に●比●し●て●大●に●時●代●遅●れ●の●感●が●あ●る●。●ア

フリカの砂漠の一隅に存するが爲め、地質良好ならず、道路並木の如き發育全からずして、之を他の海峽植民地のそれに比すべくもない。道路は坡土西が一番振はない感がある。

一〇

海峽植民地の道路に關して述べべきとは少くないが、茲には唯余輩の瞥見を略述するに止めたい、唯何人も日本の地を離れ、印度洋を経て歐洲に航行する者が、皆申合せたやうに途中より道路に關する所感を寄せて、海峽植民地道路の完備を説かぬもののないのは特に注目し値する東洋の文化國を誇る我國人が、比較的非文化國を以て處遇する支那や海峽植民地の道路を觀て感嘆の聲を惜まざる所以のものは、文化國としての我國の施設中、道路が一番遅れて居るが爲めではあるまいか。獨逸の諺に其の國の道路を見て其の國の文野を知れと言つたことがあるが若し此の諺が眞理であるとすれば、現状の如き道路を有する我國は、果して文化國の一に居ると稱することが出來得るや否や。